

日本環境効率フォーラム平成20年度活動報告(案)

1. 活動内容

(1) 環境効率推進活動(環境効率手法の活用、改善、発展等の検討)

①総会

- ・平成20年7月15日、全日通霞ヶ関ビルにおいて開催。
- ・平成19年度活動報告(案)、平成20年度活動計画案及び収支計画(案)、会長、副会長、監事選任(案)を審議し承認された。

②運営委員会

- ・平成20年4月17日、情報オアシス神田 オアシス10において開催。
- ・平成20年度総会に諮る事項を審議した。

③環境効率改善度指標「ファクターX」標準化WG

- ・前年度に引き続き、電機8社により、ファクター標準化の検討を行った。テレビ、洗濯乾燥機、パソコンの3製品について、新たな「標準化ガイドライン」の制定に取り組んだ。先の4製品(エアコン、冷蔵庫、ランプ(電球、蛍光灯)、照明器具(ランプ含む))も加えた7製品に関する新たな「標準化ガイドライン」を制定した。(8社参加)

④ICTの環境効率評価手法に関する研究会

- ・ICT小研究会1:『ICTソリューションの価値および環境負荷についてのフィージビリティスタディ』として、ICTの価値の算出手法の検討を行い具体化することを目標として研究を行った(6社参加)。
- ・ICT小研究会2:『ICTサービサイジングによる環境負荷低減効果の検討』として、環境負荷低減に資するICTを活用したサービサイジング・ビジネスモデルについて研究を行った(7社参加)。

(2) 普及啓発活動

①環境効率アワード2008

- ・環境効率アワード2008選考基準検討小委員会
平成20年7月17日 (社)産業環境管理協会7階D会議室にて開催。昨年度実施時の課題をふまえ、募集要項を改訂。
- ・環境効率アワード2008選考委員会
平成20年11月10日 (社)産業環境管理協会7階D会議室にて開催。審議の上、各賞を選考した。各賞は次ページの通り。
- ・環境効率アワード2008表彰式
平成20年12月12日 エコプロダクツ展2008会期中、東京ビッグサイト東展示場環境コミュニケーションステージにて開催。

【表彰結果の概要】

経済産業省産業技術環境局長賞

普及促進部門	富士ゼロックス株式会社 「サービス・ソリューション商品の環境訴求活動」
--------	--

日本環境効率フォーラム会長賞

製品活動部門	東芝ライテック株式会社 「白熱電球代替を推進する環境効率の高い照明機器」
--------	---

企業活動部門	積水化学工業株式会社 「環境経営指標エコバリューインデックスの活用」
--------	---------------------------------------

奨励賞

普及促進部門	独立行政法人産業技術総合研究所 社会とLCA研究グループ 「付加価値に基づく環境効率指標の開発とその普及」
	社団法人電線総合技術センター 「電線分野における環境効率の普及促進活動」

特別賞

製品パフォーマンス部門	株式会社チクマ 「EARTHINK RECYCLE SYSTEM UNIFORM」
マテリアルフローコスト会計部門	キヤノンファインテック株式会社 化成品事業部（福井事業所） 「MFCAによる廃棄物削減活動のインプロセス化」と「地域へのMFCA普及活動」
	オムロン株式会社 「マテリアルフローコスト会計活用によるグループ全体での資源生産性向上への挑戦」
	積水化学工業株式会社 「積水化学グループ全事業所マテリアルフローコスト会計導入」

②セミナーの開催

- 平成20年5月23日 環境効率セミナー
『マテリアルフローをベースにしたコストと環境負荷削減』
中央大学 駿河台記念館において開催。
- 平成20年7月15日 環境効率セミナー『低炭素社会の実現に向けて』
総会終了後、全日通霞ヶ関ビルにおいて開催。
- 平成21年1月28日 環境効率アワード2008記念講演
第5回LCA日本フォーラム表彰との共催として開催。

③小セミナーの開催

- 平成20年8月28日、平成20年10月9日 環境効率小セミナー『付加価値を基礎とした産業・企業レベルの環境効率指標』
(社) 産業環境管理協会 竹内ビル3階 会議室において開催。

2. 活動日誌

【総会】

2008. 7. 15 フォーラム総会

【環境効率アワード2008】

2008. 12. 12 表彰式 (エコプロダクツ展同時開催)

2009. 1. 28 表彰記念講演

【セミナー】

2008. 5. 23 環境効率セミナー『マテリアルフローをベースにしたコストと環境負荷削減』

2008. 7. 15 環境効率セミナー『低炭素社会の実現に向けて』

2008. 8. 28 環境効率小セミナー①

2008. 10. 9 環境効率小セミナー②

【運営委員会】

2008. 04. 17 平成20年度第1回運営委員会

2009. 03. 27 平成20年度第2回運営委員会

【ワーキンググループ】

《環境効率改善度指標「ファクターX」標準化WG (昨年度より継続)》

2008. 4. 24 第1回ファクターX標準化WG

2008. 7. 4 第2回ファクターX標準化WG

2008. 9. 3 第3回ファクターX標準化WG

2008. 10. 28 第4回ファクターX標準化WG

2008. 11. 17 第5回ファクターX標準化WG

2009. 3. 10 第6回ファクターX標準化WG

【研究会】

《ICTの環境効率評価手法に関する研究会》

〈ICT小研究会1〉

2008. 4. 21 第0回 ICT小研究会1 (準備会合)

2008. 5. 29 第1回 ICT小研究会1

2008. 6. 24 第2回 ICT小研究会1

2008. 8. 4 第3回 ICT小研究会1

2008. 9. 2 第4回 ICT小研究会1

2008. 10. 9 第5回 ICT小研究会1

2008. 11. 19 第6回 ICT小研究会1

2008. 12. 8 第7回 ICT小研究会1

2009. 1. 15 第8回 ICT小研究会1

2009. 2. 9 第9回 ICT小研究会1

2009. 3. 10 合同報告会

〈ICT小研究会2〉

2008. 4. 21 第0回 ICT小研究会2 (準備会合)

2008. 5. 28 第1回 ICT小研究会2

2008. 7. 24 第2回 ICT小研究会2

2008. 10. 9 第3回 ICT 小研究会 2
2009. 2. 9 第4回 ICT 小研究会 2
2009. 3. 10 合同報告会

以上

平成20年度 収支決算報告(案)

(単位:千円)

科目	予算(X)	実績(Y)	差引(Y-X)	
I. 収入の部				
1. 会費	1,060	1,055	-5	
				フォーラム年会費(法人会員) @ 20 × 50 社 = 1000 フォーラム年会費(個人会員) @ 5 × 11 人 = 55
2. 事業費	60	354	294	
				セミナー参加費(非会員) @ 3 × 58 人 = 174 セミナー参加費(非会員) @ 5 × 36 人 = 180
3. 前期繰越金	607	607	0	
収入合計(A)	1,727	2,016	289	
II. 支出の部				
1. セミナー関係費	620	695	75	
				会場費(H20.7.15) 120 会場費(H21.1.28) 27 セミナー関係雑費 127 セミナー講師謝金 302 セミナー講師旅費 119
2. アワード関係費	380	473	93	
				選定委員会謝金 134 選定委員会旅費 70 会議費 14 アワード式典・受賞企業副賞等 124 記念講演謝金 36 記念講演旅費 9 アワード関係雑費 86
3. 運営委員会活動費	140	201	61	
				謝金(第1回) 0 旅費(第1回) 91 前年度振替分 21 旅費(第2回) 89
4. その他雑費	587	358	-229	
				事務費 343 振込手数料 15
支出合計(B)	1,727	1,727	0	
収支差(A-B)	0	289		

監査報告書

平成20年度日本環境効率フォーラム会計書類について監査を行った結果、収支の状況を正しく示しているものと認めます。

平成21年 5月 28日

監事 キヤノン株式会社
環境本部
環境企画センター 環境標準部

中村 和利

